



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

とやまワイズメンズクラブ 2021 年6月号ブリテン

主 題 2020-2021 年度：国際・アジア太平洋地域区・部

クラブ会長主題「リボーンとやま、あらたな第一歩」会長 清水 淳

- ・国際会長主題：Trust in the river of life (命の川を信じよう) 会長 Jacob Kristensen (デンマーク)
スローガン：Values, Leadership and Extension (価値観、リーダーシップ、エクステンション)
- ・アジア太平洋地域会長主題：Make a difference (変化をもたらそう)：会長 David Lua (シンガポール)
スローガン：INSPIRE (奮い立たせよう)
- ・西日本区理事主題：“Let's do it now!” 西日本区理事・古田裕和 (京都トゥービー)
副題：“2022 に向け誇りをもって、All is well”
- ・中部部長主題：“知らせよう！ワイズの奉仕活動を” 部長・早川政人 (名古屋グランパス)

日 時：2021 年 6 月 14 日 (月) 18:00~20:00

会場：富山 YMCA 堤町センター

例会プログラム

18 時 00 分 例会開始 司会：島田 茂

開会式 1) 開会点鐘 2) ワイズソング 3) 聖書朗読 4) 祈祷 5) 清水会長挨拶

18 時 15 分 卓話：「富山市 SDGs 計画」

スピーカー：東福光晴氏 (富山市環境政策課課長代理)

19 時 15 分 報 告

1) 活動の報告と今後の活動 7 月 12 日 (月) 18 時 堤町センター予定

内容：①. 卓話案：青島さん、消費者教育と市民社会

②. 西日本区大会 (6 月 5 日~6 日京都実施予定) 報告 ③. プログラム計画

2) YMCA 報告 3) ハッピーバースデー 4) ニコニコ BOX

19 時 55 分 閉会点鐘 20 時 00 分 閉会

【5 月第 1 例会出席報告】会員卓話：「富山 YMCA 70 年の歴史と共に」菅原美穂子ワイズ

日 時：2021 年 5 月 10 日 (月) 18:00~20:00 富山 YMCA 堤町センター

(敬称略)

出 席：清水淳会長、中島完一、青島明生、池田通則、内山政子、川淵映子、小泉宗政、菅原美穂子、橋本順子、
中川喬之、島田 茂 以上 11 名

(18 名中出席率 61.1%)

ゲスト：村上 隆、竹中成行、以上 2 名

欠 席：青山 仁、城石芳人、高松朱音、舟崎優満、水野 績、水野智恵子 (メネット)、松浦正樹 以上 7 名

・YMCA 報告 5 月 (中川ワイズ)

① 4 月 20 日から新年度プログラムを感染対策整えながらスタート

② 新入リーダーはオンラインでリーダー説明会を開催し、新人 7 名が加わった。

③ 職員竹中さんが受洗。5 月 30 日からクライミングクラブ (小中学生) が開始。タケノコリーダーが中心

聖書 使徒言行録 18章 23～19章 7節

23 パウロはしばらくここで過ごした後、また旅に出て、ガラテヤやフリギアの地方を次々に巡回し、すべての弟子たちを力づけた。24 さて、アレクサンドリア生まれのユダヤ人で、聖書に詳しいアポロという雄弁家が、エフェソに来た。25 彼は主の道を受け入れており、イエスのことについて熱心に語り、正確に教えていたが、ヨハネの洗礼しか知らなかった。26 このアポロが会堂で大胆に教え始めた。これを聞いたプリスキラとアキラは、彼を招いて、もっと正確に神の道を説明した。27 それから、アポロがアカイア州に渡ることを望んでいたのも、兄弟たちはアポロを励まし、かの地の弟子たちに彼を歓迎してくれるようにと手紙を書いた。アポロはそこへ着くと、既に恵みによって信じていた人々を大いに助けた。28 彼が聖書に基づいて、メシアはイエスであると公然と立証し、激しい語調でユダヤ人たちを説き伏せたからである。

1 アポロがコリントにいたときのことである。パウロは、内陸の地方を通してエフェソに下って来て、何人かの弟子に出会い、2 彼らに、「信仰に入ったとき、聖霊を受けましたか」と言うと、彼らは、「いいえ、聖霊があるかどうか、聞いたこともありません」と言った。3 パウロが、「それなら、どんな洗礼を受けたのですか」と言うと、「ヨハネの洗礼です」と言った。

4 そこで、パウロは言った。「ヨハネは、自分の後から来る方、つまりイエスを信じるようにと、民に告げて、悔い改めの洗礼を授けたのです。」5 人々はこれを聞いて主イエスの名によって洗礼を受けた。

6 パウロが彼らの上に手を置くと、聖霊が降り、その人たちは異言を話したり、預言をしたりした。

7 この人たちは、皆で十二人ほどであった。

「富山 YMCA 70 年の歴史と共に」菅原美穂子ワイズ

今回は、1951年富山 YMCA 創立後の草創期から会員となられた菅原美穂子ワイズに当時のお話を伺いました。

菅原さんは、1954年にラジオで YMCA の絵画教室があるという宣伝があり、67年前に富山 YMCA の会員になりました。当時会館はなく総曲輪教会で活動をされていました。

日本 YMCA 同盟にも加盟する前で、YMCA のリーダーであった富田（政二）俊子さん（当時富山県社会教育課嘱託職員）と政二廣吉さんが会務をされていました。俊子さんは、社会教育課スタッフとして青年団の支援をしていました。青山啓七さんが北陸電力の上司として政二



さんが YMCA で活動することを認めていたそうです。初代理事長となられた田上理事長等クリスチャンが YMCA を創立し、富田俊子さんと政二さんがクラブ活動として YMCA のリーダーシップを担っていたということです。その後日枝神社に山王公民館ができていて、クラブ活動が行われました。コーラス部は公民館が使えず、絵画クラブが公民館を使っていました。桃井町の YMCA 会館ができてからは、YMCA らしい活動ができるようになりました。総主事は、当時は全国 YMCA から1年～3年くらいで交代してきました。富山の総主事が長く続いたのは城石さんが最初。富山の総主事は雪かきなど苦労することが多かったのです。

何でも雪除けから労働するのが総主事だと思っていました。ワイズは、にこにこボックスは良い習慣で、いつの間にかいいことはないか考える習慣がついてきました。色々な仕事をしながらでも YMCA で遊ぶことができたことは幸せなことです。

美穂子さんが3回目の会長をした時にお金もかかるし、メンバーも7名だったのでワイズをやめようと考えたそうです。ところが辞めるシステムがなかったのです。ご主人が一人で登録されていました。彼としては一人残ってれば、高松のクラブが一人で登録し続けて盛り返したので、2～3年間頑張られていました。

菅原さんは、最初の女性のワイズ中部部長になりました。ちょうど阪神淡路大震災であった頃です。女性部長一号になりましたが、同時に3人の女性が部長となったそうです。白馬館ではお弁当とって行ったり、ステーションホテルで食事付きだったので誘いやすかった。富山では YMCA と教会の関係が良く、YMCA を通して教会に行くようになった方が多かったです。YMCA と教会はとても良い関係にあったので、なるべく日曜日には活動をしなかったとのこと。